

講演会のご案内

「知の拠点」における材料開発・技術改革

- 高度計測分析機器からシンクロトロン光の利用まで -

主催 公益財団法人科学技術交流財団、愛知県

愛知県では、愛・地球博の東ターミナル跡地に「知の拠点」づくりを進めており、平成23年度中に、高度な計測分析機器を備えた産・学・行政の共同研究の拠点となる「あいち産業科学技術総合センター」がオープンします。また、次世代モノづくりに必要なナノレベルの先端計測分析施設である「中部シンクロトロン光利用施設（仮称）」も平成24年度中にオープンする予定です。

この「知の拠点」は、高度計測分析機器とシンクロトロン光利用施設が併設される国内にも例のないもので、この有効活用により企業の研究開発がより一層促進されることが期待されています。

このため「知の拠点」では、（公財）科学技術交流財団と愛知県、大学連合が相互に連携しながら高度計測分析機器とシンクロトロン光利用施設による企業の分析支援を行います。配置されるコーディネータと技術職員が利用相談に応じることで、適切な分析機器の選択から測定、結果の解析、および課題解決までをお手伝いすることとしております。

本講演会は、高度計測分析機器の具体的な機器の内容と、その分析事例や課題解決例を広く企業の皆様方に知って頂くためのものです。

「知の拠点」が何を指すのか、ここで研究開発を行うことによってどんな成果が期待できるのかを、各分野の専門家から解りやすく、お話し頂きます。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日時：平成24年2月2日（木）【13：30～16：30】受付開始13時から

会場：名古屋国際センタービル5階 第一会議室(名古屋市中村区那古野町一丁目4番1号)

(地下鉄桜通線、国際センター駅下車)

プログラム

講演1 「分析機器による不具合対策、開発支援」

名古屋商科大学教授（元豊田中央研究所部長）

磯谷 彰男 氏

講演2 「あいち産業科学技術総合センターに設置する分析機器について」

愛知県 産業労働部職員（予定）

講演3 「医療・環境・産業分野へのシンクロトロン光応用」

（公財）科学技術交流財団 シンクロトロン光産業利用コーディネータ

岡本 篤彦

（京都医療科学大学名誉教授）

申込方法 下記の申込書にご記入の上、FAX、郵送または電子メールにてお申込み下さい。

(公財)科学技術交流財団 総務部知の拠点施設整備課 本多
〒460-0002 名古屋市中区丸の内二丁目4番7号
TEL: 052-231-1475 FAX: 052-231-5658 E-mail: f-honda@astf.or.jp

申込期限 平成24年1月27日(金)

参加費 無料 (定員80名になり次第締め切り)

交通のご案内

名古屋国際センタービル



<http://www.nic-nagoya.or.jp/japanese/nicnews/aramashi/nicaccess>

地下鉄桜通線「国際センター」駅下車すぐ

「知の拠点」における材料開発・技術改革 講演会申込書

(公財)科学技術交流財団 総務部知の拠点施設整備課 本多 行

TEL 052-231-1475

FAX 052-231-5658 メール f-honda@astf.or.jp 平成 年 月 日

| | |
|-------|-------------------|
| 企業名 | |
| 所在地 | 〒 |
| 所属・氏名 | |
| 連絡先 | TEL FAX E-mail |